



# 学校だより 2月号

横浜市立日吉南小学校

令和6年2月9日

## 将来の夢に向けて

副校長 八田 安史



### 校内書初め展

各学年の書が廊下に掲示され、多くの保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。

子どもたち一人ひとりが自分の書と向き合って書いたことを想像すると、書を見ているだけで元気をもらえます。6年生の書初めは「将来の夢」。展示されていた書はそれぞれの思いが伝わり、まさに一人ひとりの将来の夢が輝いていました。

### 大谷翔平選手からグローブの寄贈

朝会で大谷翔平選手からグローブが寄贈されたことを伝え、その後にグローブを各クラスに回しています。回ってきたクラスでは、持って重さを感じたり、つけてみて付け心地を感じたり、一人ひとりがグローブに触れ感じたことがある様子です。右に大谷選手から各学校へのメッセージを載せておきます。「野球しようぜ。」がとても印象的なメッセージだと感じました。

子どもたちに朝会で話した内容ですが、大谷選手が高校1年生の頃、自分の目指すゴールである目標を「高校を卒業するときに、プロ野球の8つの球団から1位指名を受ける」と決めたそうです。高校1年生にとっては、簡単には設定できないとても大きな目標だと思います。さらに大谷選手は目標を達成するための小さな目標や具体的に行うことなどを考えました。具体的に何をするのかを決めることはとても大事なことだと思います。

その小さな目標の中に、「運」という項目を位置付けたそうです。そして「運を高める」という小目標を達成するために、あいさつ・ゴミ拾い・部屋そうじ・道具を大切に扱う・審判さんへの態度・プラス思考・応援される人間になる・本を読むという8つのことを行うことを考え実行していったそうです。



ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

### 将来に向けての小さな一步一步

大谷選手が「運」という小目標に向けて考えた行動の一つひとつは特別なことではないかもしれませんが、それらを大事にしようと考え実行し、夢を実現させてきた大谷選手から学ぶことは、とても多いのではないのでしょうか。

あいさつやゴミ拾い、掃除や物を大切にすること、態度や本を読むことなどは、小学生でも大事にしていけることです。一つひとつは小さなことかもしれないけれど、それらを積み重ねていくことが、将来の夢につながっていくのだと現在の大谷選手の姿が証明しています。

小さな一步一步を大切に積み重ね、子どもたちが将来の夢に向かって歩み進めていけるよう、学校生活でも応援していきます。